

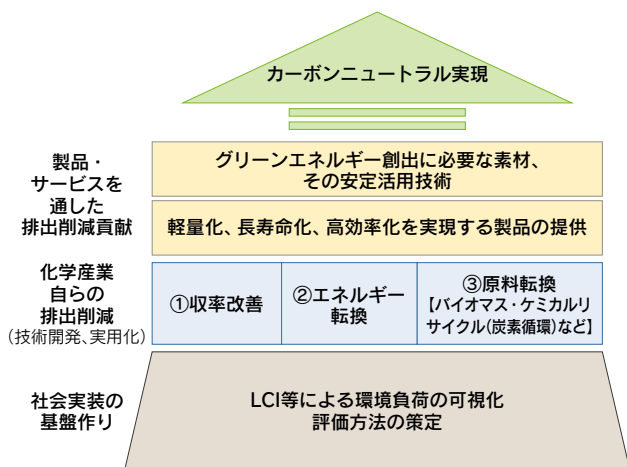
# 日本化学工業協会

## 化学産業における

### カーボンニュートラルに向けた取り組み

—— ソリューションプロバイダーとしてイノベーションを加速

化学産業は、カーボンニュートラル（CN）の実現に向けて、持続可能な社会への転換に資する技術開発とそれらの社会実装を加速していく必要がある。日本化学工業協



会（日化協）は、化学工業の健全な発展を図り、もって我が国経済の繁栄と国民生活の向上に寄与することを目的に活動を行っており、2021年、「カーボンニュートラルへの化学産業としてのスタンス」（以下、本スタンス）を策定し、化学産業としての方向性をまとめた。

#### イノベーション推進を支援

本スタンスでは、化学産業が「自らにおけるGHG（温室効果ガス）排出削減」「製品・サービスを通じたGHG排出削減貢献」と2つの視点からCN実現に貢献することを記している。自らの排出削減策としては、エネルギー転換と原料転換を推進している。

エネルギー転換では、自家発電時にエネルギー源として使用している石炭などの化石燃料からCO<sub>2</sub>排出量が少ない燃料へ切り替えることを挙げている。LNG等への転換による低炭素化、バイオ燃料や合成燃料を使用する循環炭素化、最終的には水素やアンモニア

燃料への切り替えによる脱炭素化を図る。さらに、製造工程の電化を進め、再生可能エネルギーなどのグリーン化された購入電力を使用していくことで、CO<sub>2</sub>排出を低減する。原料転換では、バイオマス原料の使用、廃プラスチックのリサイクルやCCU（二酸化炭素回収・利用）などの革新技術の開発により炭素循環を目指す。

#### 社会全体を巻き込んでカーボンニュートラル実現を目指す

CN達成のためには、社会全体でその負担を担っていくことが必要であり、日化協では、政府やバリエーションパートナーとの連携が重要であると考えている。

例えば、本スタンスの「製品・サービスを通じたGHG排出削減貢献」では、グリーンエネルギー創出に必要な素材・技術、生活を支える製品・サービスを提供し、さらに、製品に軽量化、長寿命化などの価値を付与し、その素材や製品が選ばれ使用されることによるGHG排出削減を目指している。そのためには、この化学産業が提供する環境価値が認められる社会を醸成することが重要である。

化学産業は、社会に必要なとされる製品・サービスを安定的に提供し続けるだけでなく、取り巻く環境が変化する中、様々な課題を解決するソリューションプロバイダーとして社会への一層の貢献を目指していく。